

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ヒメアカタテハ	タテハチョウ科	アカタテハより少し小型の タテハチョウ	△	○	○	全国



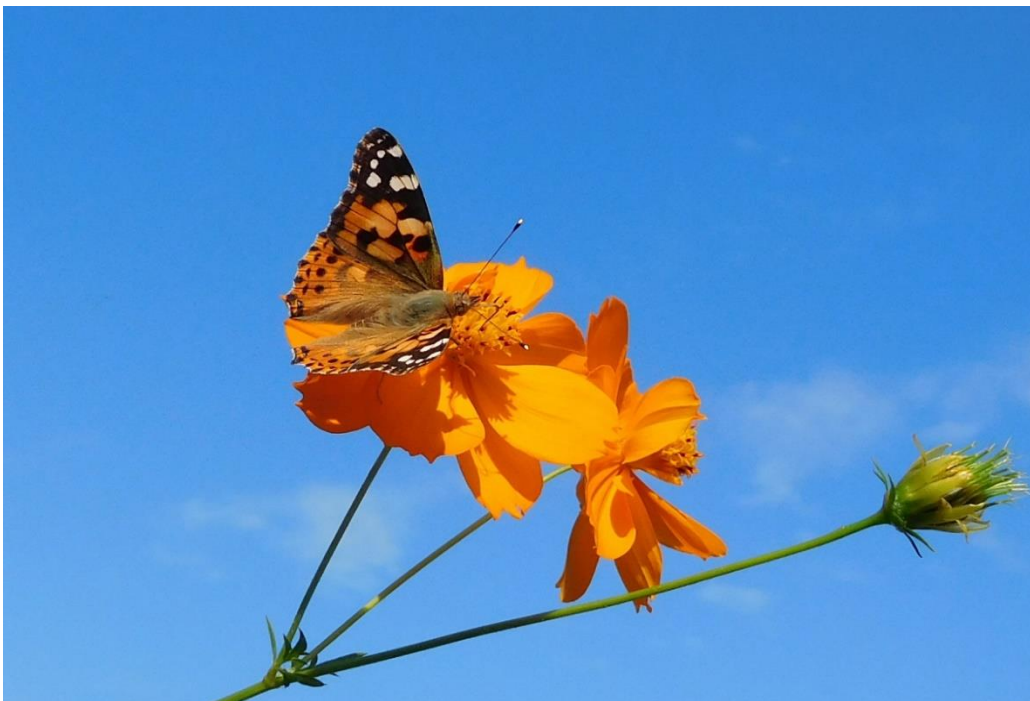
多摩川土手（中野島）9月25日（2017年）キバナコスモスで吸蜜



多摩川土手（中野島）10月中旬 キバナコスモスほか

成虫発生時期（月）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草			食樹			発生回数/年			越冬形態		
ヨモギ、ゴボウほか						3~4			成虫・幼虫		

春から秋まで見られるタテハチョウです。9月中旬頃からハイムの裏の多摩川土手にキバナコスモスが咲き出すと、多くの蝶が蜜を求めて飛来しますが、その中でも圧倒的に数が多いのがこのヒメアカタテハです。明るい草地を好み軽快に飛び回っては花にとまり吸蜜する陽性タイプのタテハチョウで、秋にその数が増えること、また、世界中に分布することでも知られています。ヒメアカタテハのほかにも少し本種より大きめで羽模様もよく似たアカタテハ、ツマグロヒョウモン、モンキチョウ、キアゲハ、ウラナミシジミ、イチモンジセセリなどが混じり正に千客万来で、この時期の多摩川土手は一見の価値があります。



多摩川土手（中野島）
10月2日（2016年）
キバナコスモス